

津市久居中央スポーツ公園内 プールのライダ改修工事

	意匠図		構造図
A - 1	改修工事特記仕様書 1	S - 1	構造設計特記仕様書
A - 2	改修工事特記仕様書 2	S - 2	QLデッキ標準図
A - 3	改修工事特記仕様書 3	S - 3	伏図・軸組図 (参考図)
A - 4	改修工事特記仕様書 4		
A - 5	付近見取図・配置図 兼 外部仮設図・面積表		
A - 6	平面図		
A - 7	床伏図		
A - 8	立・断面図 (改修前)		
A - 9	立・断面図 (改修後)		
A - 10	雑詳細図 1		
A - 11	雑詳細図 2		
A - 12	雑詳細図 3・部材リスト・鉄骨詳細図 1		
A - 13	鉄骨詳細図 2		

4 塗り仕上げ (4.2.2) (j) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け
			・ ゆず肌状	こて
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 平坦ん状	こて
・ 凹凸状			こて	
・ ひき起し			こて	
・ 掻き落とし			こて	
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平坦ん状	こて	
		・ 凹凸状	こて	
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材DE	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平坦ん状	ローラー	
		・ 凹凸状	ローラー	
・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²)	・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り ()	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平坦ん状	ローラー	
		・ 凹凸状	ローラー	
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)	複層仕上塗材の上塗材の種類			
	樹脂種類	溶媒種類	外 観	
	・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	
	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
(4.6.3)	既存塗膜等の除去及び下地処理			
	工法	処理範囲		
	・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離工法 ・ 水洗い工法 ・ 高圧ポンプ (10~15Mpa)			
	・ 下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()			

5 建具 改修工事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法
	2 防火戸 (5.1.4)	・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)
	5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (c)	・ 再使用する ・ 再使用しない
	6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 ・ B-1 ・ B-2 () ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ()

7 網戸 (5.2.3) (e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ガラス ・ 複層ガラス () 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) 丁香 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 T-3) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3) (a) (5.2.3) (a)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 () JIS G 3317 ・ Y08 () ・ H ₂ 2400又はH ₂ 950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による
11 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)
	材料 ・ SUS304 ()
	表面仕上げ ・ HL仕上げ ()
	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛かり部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.1) による ・ 図示 (図面番号: A-12)
	マスターキー ・ 製作する 引渡用鍵箱 ・ 必要
	マスターキー ・ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 不要
	マスターキー ・ 製作する 引渡用鍵箱 ・ 必要
13 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	開閉装置の性能値 ・ 図示 (図面番号:)
	センサーの種類 ・ 図示 (図面番号:)
	凍結防止措置 ・ あり ・ なし
	自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)
14 自閉式上吊り 引戸装置 (5.9.3)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 屋外用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
	耐風圧強度 (Pa以上)
	開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ()
15 重量シャッター (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 屋外用防火シャッター ・ 防煙シャッター
	耐風圧強度 (Pa以上)
	開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ()
16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式
	耐風圧強度 (Pa以上)
	スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () JIS G 3322 ・ AZ90 ()
	スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () JIS G 3322 ・ AZ90 ()

17 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板		
	板ガラス (5.13.2) (a) (5.13.4)	・ 図示	
	18 ガラス留め材 (5.13.2) (b)	・ シーリング ・ ガasket ()	
	19 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による	
20 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	ガラスブロック ク積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。	
	6 内装 改修工事	1 一般事項 (6.1.3) (b)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 ・ 天井 ・ 壁 ・ 床 改修範囲 ・ 図示
	(6.1.3) (c)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号:)	
	(6.1.3) (f)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号:)	
2 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2) (a) (1)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない		
	(6.2.2) (a) (2)	合成樹脂塗料の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法	
	(6.2.2) (c)	改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ()	
	3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ (モルタル塗り)	
4 木下地等 (6.5.1) (c) (表6.5.1) (6.5.2) (a) (2) (表6.5.2)	表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) 部材名称 下地材 造作材 種 別 ・ A種 ・ B種 ・ A種 ・ B種		
	(6.5.2) (b) (1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 部位 樹種・寸法・形状 等級 含水率 下地用 針葉樹製材 造作用 針葉樹製材 広葉樹製材 ・ 図示 ・ () ・ () ・ ()	
	(6.5.2) (b) (2) (6.5.2) (b) (3) (表6.5.3)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 () 樹種 部 位 見切、額縁 樹 種 米桐 県 産 材	
	(6.5.2) (b) (3) (6.5.2) (c) (i)	代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない 造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 部 位 樹 種 ・ 寸 法 見付け材面の等級 厚さ 造作用集成材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 化粧ばり造作用 集成材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 化粧ばり構造用 造作用集成材 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()	

(6.5.2)(c)(ii)	「集材材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 15%以下 ・ ()
(6.5.2)(d)(i)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位 厚さ 表面の品質 防虫処理 造作用単板積層材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ ()
(6.5.2)(d)(ii)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()
(6.5.2)(e)	・ 床張り用合板等 部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ
(6.5.5)(a)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()
(6.5.5)(b)	・ 防虫処理 図示 (図面番号:)
5 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ≥1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ>3m ・ 図示 (図面番号:)
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:)
6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ・ 図示
⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(a)	材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 色柄 厚さ 備考 FS マーブル 2.5mm
(6.8.2)(b)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 種類の記号 厚さ 備考 半硬質ビニル床タイル 2.0mm
(6.8.2)(c)(1)	・ 帯電防止床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考 FOA 表面電気抵抗値 1.8×10 ⁵ 以下 5.0mm
(6.8.2)(c)(2)	・ 視覚障害者用床タイル 種類 形状 備考 ビニル床タイル 300×300×7.0mm
(6.8.2)(c)(3)	・ 耐動荷重性床シート 種類 性能 厚さ 備考
(6.8.2)(c)(4)	○ 防滑性床シート又は床タイル 種類 性能 厚さ 備考 FS プール用 防滑性 耐候性 2.1~4.2mm 遮熱 赤外線反射 ○ 接着剤: エポキシ樹脂系 二成分形耐水接着剤 (JIS F☆☆☆☆)
(6.8.2)(e)	・ ゴム床タイル 種類 厚さ 備考
(6.8.3)(a)	工法 下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 (図示)
(6.8.3)(b)	ビニル床シート張り 熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん 種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 ・ A種 ・ カットバイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ B種 ・ ループバイル ・ C種 ・ カット、ループ併用 ・ () 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
(6.9.3)(b) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット、ループ併用 ・ ()
(6.9.3)(c)	・ ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 備考 ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ ()
(6.9.3)(d) (表6.9.2)	・ タイルカーペット 種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 ・ カットバイル ・ 500×500 ・ 6.5 ・ ループバイル ・ () ・ () ・ ()
(6.9.3)(e)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()
(6.9.3)(f)	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))
(6.9.4)(e)	敷き方 平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ () 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)~ (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)
10 フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法 材料 種類 樹種 ・ フローリングボード (根太張用) ・ 複合フローリング (根太張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種 防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)
(6.11.5) (表6.11.5)	・ 接着工法 材種 樹種 厚さ 大きさ ・ フローリングボード (直張用) ・ フローリングブロック (直張用) ・ 複合1種フローリング (直張用) ・ A種 ・ なら ・ 12mm (耐摩耗表面単板 2mm) ・ 複合2種フローリング (直張用) ・ B種 ・ 複合3種フローリング (直張用) ・ C種 ・ モザイクパーケット (直張用) ・ () ・ () ・ () 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)
(6.11.6)(2)	塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ ()
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
12 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	材種 種類 厚さ(mm) ・ セッコウボード 壁 ・ 9.5(準不燃) 天 井 ・ 12.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) ・ 化粧セッコウボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(準不燃) ・ 木目模様 ・ 9.5(準不燃) ・ 普通 ・ 9 ・ ロックウール化粧吸音板 ・ 立体模様 ・ 12mm ・ けい酸カルシウム板 ・ タイプII 0.8FK ・ 化粧けい酸カルシウム板 ・ 6mm
(6.13.2)(h)	遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(e)(3)	合板類の張付け ・ A種 ・ B種
(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5)	セッコウボードの目地工法 ・ 縫目処理 ・ 突付け ・ 目透し
13 壁紙張り (6.14.2)	施工箇所 品質 防火性能 図示 掲示クロス、中級品 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃

14 モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:)
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号:) タイルの種類 施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 ずべり抵抗性 区分 I類(磁器) II類(せつ器) III類(陶器) 役物 標準・特注色 耐凍害性有無 図示
(6.16.3)(b)(1)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
16 セルフレリソング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚 (18、25) mm
17 断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 種類 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ A種硬質ウレタンフォーム ・ フェノールフォーム
(9.5.3)	断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム) 種類 厚さ[mm] 施工箇所 ・ A種1 ・ A種2 ・ () ・ A種3 ・ () ・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
7 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3)(b) ② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR/B種の場合) ・ 図示 種類 下地 種類 ひび割れ部の補修 ・ 木部 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ○ 鉄鋼面 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ モルタル、プラスター面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ コンクリート、ALCパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う ○ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ○ RB種 ・ RC種 ・ 行う ・ セッコウボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4) 錆止め塗料種類 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種類 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 4 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3) 塗料種類 ・ 1種 ・ () 種類 下地 種類 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 5 クリヤラッカー塗り(GL) (7.5.2) (表7.5.1) 種類 木部 ・ A種 ・ B種 6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 7 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3) 上塗り等級 ○ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種類 下地 鉄鋼面 ○ A種 ○ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	下地	種別
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種	しみ止め ()
	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種
10 合成樹脂エマ ルジョン模様塗 料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別	・ A種 ・ B種	
	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種	
	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
13 木造保護塗料 塗り(WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別	・ A種 ・ B種	
	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
8の1 耐震改修工事共通事項	(一般事項) 1 適用範囲	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事(連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事	工事種別 ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事 ・ 基礎工事
	(8.1.1) (8.1.2)		
8の2 耐震改修工事 ・ ・ 撤去工事	1 既存部分の撤去等	撤去の範囲 ・ 図示 ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 ()	既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () 撤去範囲 図示
	2 既存構造体の撤去	既存構造体の撤去 撤去範囲 図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断	鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず残す ・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし
	(8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2)		
3 既存部分の処理	既存構造体コンクリートの表層目荒らし 目荒らし程度 ・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ・ 図示(図面番号:)	はつりだした鉄筋の処置 ・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 () はつりだした鉄骨の処置 ・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。 ()	
(8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)			

8の3 耐震改修工事 ・ ・ 鉄筋工事	① 鉄筋	(8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による 種別 径(mm) ○ SD295A 10 ・ SD345 19 ・ SD390 ()
	② 溶接金網	(8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 100×100 6.0mm
	3 加工	(8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 () 図示(図面番号:)
	4 鉄筋の継手及び定着	(8.3.4)	径 部位 重ね継手 ・ D16以下 ガス圧接 ・ D19以上
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	(8.3.5)	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による ・ 図示(図面番号:) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所設ける 鉄筋の定着長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)による ・ 図示(図面番号:) 帯筋組立の形 ・ 図示(図面番号:) 軽量コンクリートで土に接する部分 ・ 無し ・ 有り 適用箇所() mm 最小かぶり厚さ() mm 耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等) ・ 無し ・ 有り 適用箇所() mm 最小かぶり厚さ() mm
	6 各部配筋	(8.3.8)	図示(図面番号:)
	7 ガス圧接	(8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない
	8 割裂補強筋	(8.21.6) (8.22.7)	割裂補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・ スパイラル筋 ・ 鉄筋コンクリート用 ・ R235 ・ 6φ スパイラルの径(mm) ・ 図示(図面番号:) 種類 ・ () ・ 9φ ・ () ・ () スパイラルのピッチ(mm) ・ はしご筋 ・ 鉄筋コンクリート用 ・ 295A ・ 10 壁内方向筋 ・ () ・ () 壁面外方向筋 ()
	9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手	(8.4.2) (8.4.3)	機械式継手 種類 () 工法 () 品質の確認方法 () 修正方法 () 鉄筋相互のあき () mm 溶接継手 工法 () 品質の確認方法 () 修正方法 () 鉄筋相互のあき () mm
	(コンクリート工事一般事項) ① コンクリートの種類及び強度	(8.1.3) (8.1.4)	コンクリートの種別 ○ I類 ・ II類 普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F _c [N/mm ²] 適用範囲 気乾単位容積質量 スランプ ○ 21 図示 ○ 2.3t/m ³ 程度 15
(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)		軽量コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F _c [N/mm ²] 種別 適用範囲 気乾単位容積質量 所要気乾単位容積質量 スランプ ・ 36 ・ 1類 ・ 2類 ○ (21) ○ 1類 図示 1.9	
② 構造体コンクリートの仕上り	(8.1.4)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ・ A種 ○ B種 ・ C種	
(コンクリート) ③ コンクリートの材料	(8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 ○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 () ・ 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 適用箇所 ()	

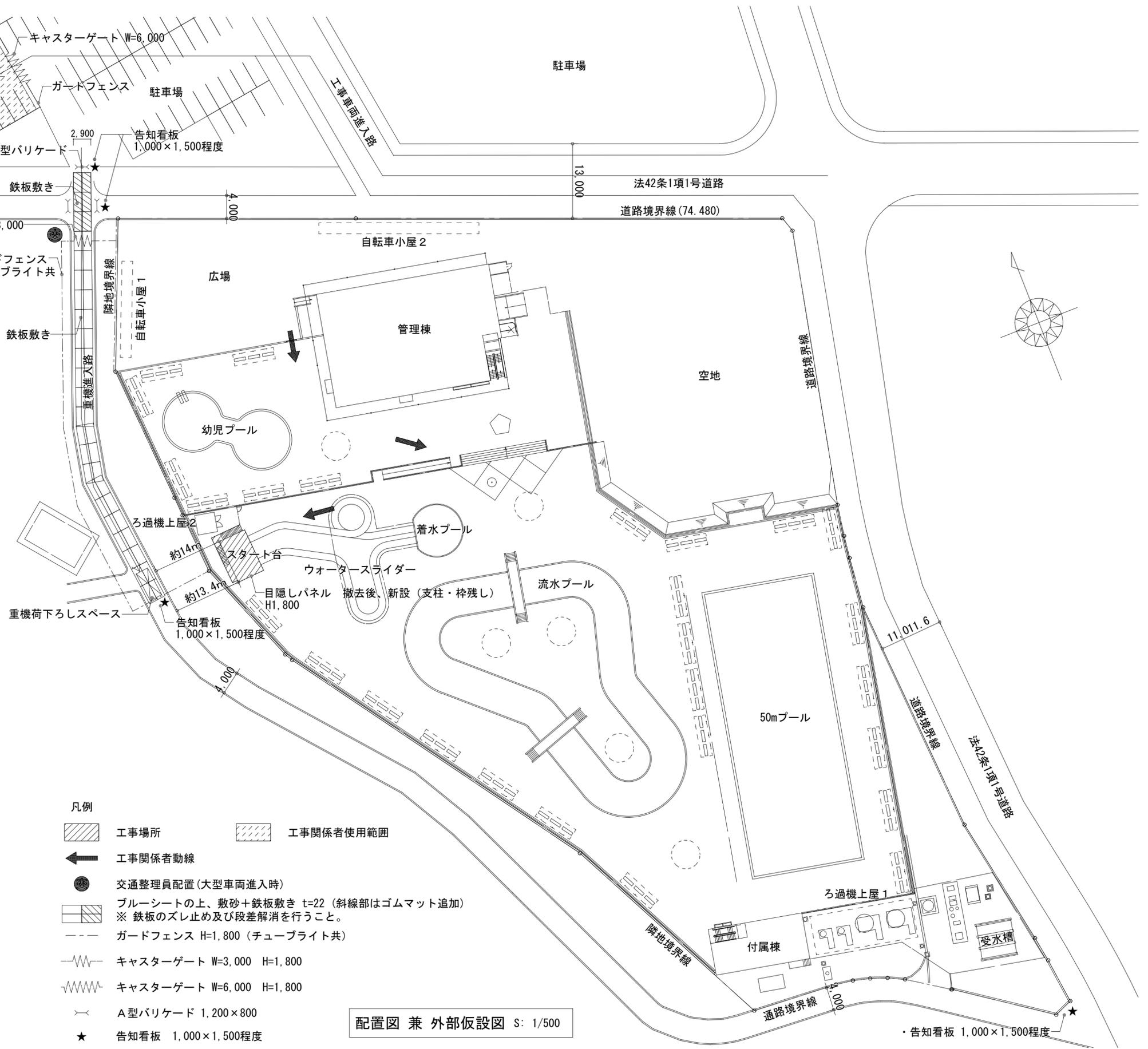
8の4 耐震改修工事 ・ ・ コンクリート工事	④ 混和材料	(8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ○ A _L (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A(安全と認められる骨材を使用) なお、A _L で規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロケルslag細骨材 ・ 鋼slag細骨材 ・ 電気炉酸化slag骨材 ・ 再生骨材H ○ 混和剤 混和剤の種類 ○ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による ・ 図示(図面番号:) 混和材 混和剤の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による ・ 図示(図面番号:)
	5 調合管理強度	(8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 3N/mm ² ・ 6N/mm ² (改修標準仕様書表8.2.4による)
	6 型枠	(8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板(厚さ ・ 12mm ()) スリーブ ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による ・ 改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による ・ 材種() 規格()
	7 暑中コンクリート	(8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 6N/mm ² ()
	⑧ 無筋コンクリート	(8.11.1)	設計基準強度 ○ 18N/mm ² () スランプ ○ 15cm ・ 18cm ()
	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	(8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定 補強工法 打設工法 部位 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) () ・ 図示(図面番号:) ()
	9 コンクリートの打込み工法等	(8.21.8) (8.23.5)	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) () ・ 図示(図面番号:) ()
	(8.23.6)		柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む () 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号:) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号:) 60mm ()
	10 増設壁工事後の仕上げ	(8.21.10) (8.23.7)	・ 図示(図面番号:)

※ 工事車両用駐車場及び資材搬入経路は、現場再確認の上監督員と協議すること。

面積表				
敷地面積	15,027.15 m ²			
建物	1階床面積	延床面積	建築面積	構造
ろ過機上屋1	122.40m ²	122.40m ²	122.40m ²	S造平屋建
ろ過機上屋2	9.00m ²	9.00m ²	9.00m ²	S造平屋建
管理棟	584.40m ²	584.40m ²	776.40m ²	S造平屋建
付属棟	115.75m ²	115.75m ²	115.75m ²	S造平屋建
自転車小屋1	31.92m ²	31.92m ²	31.92m ²	S造平屋建
自転車小屋2	53.20m ²	53.20m ²	53.20m ²	S造平屋建
合計	916.67m ²	916.67m ²	1,108.67m ²	
都市計画区域外	用途指定無	容積率:200%	建ぺい率:60%	
建ぺい率	8.23%	容積率	6.8%	

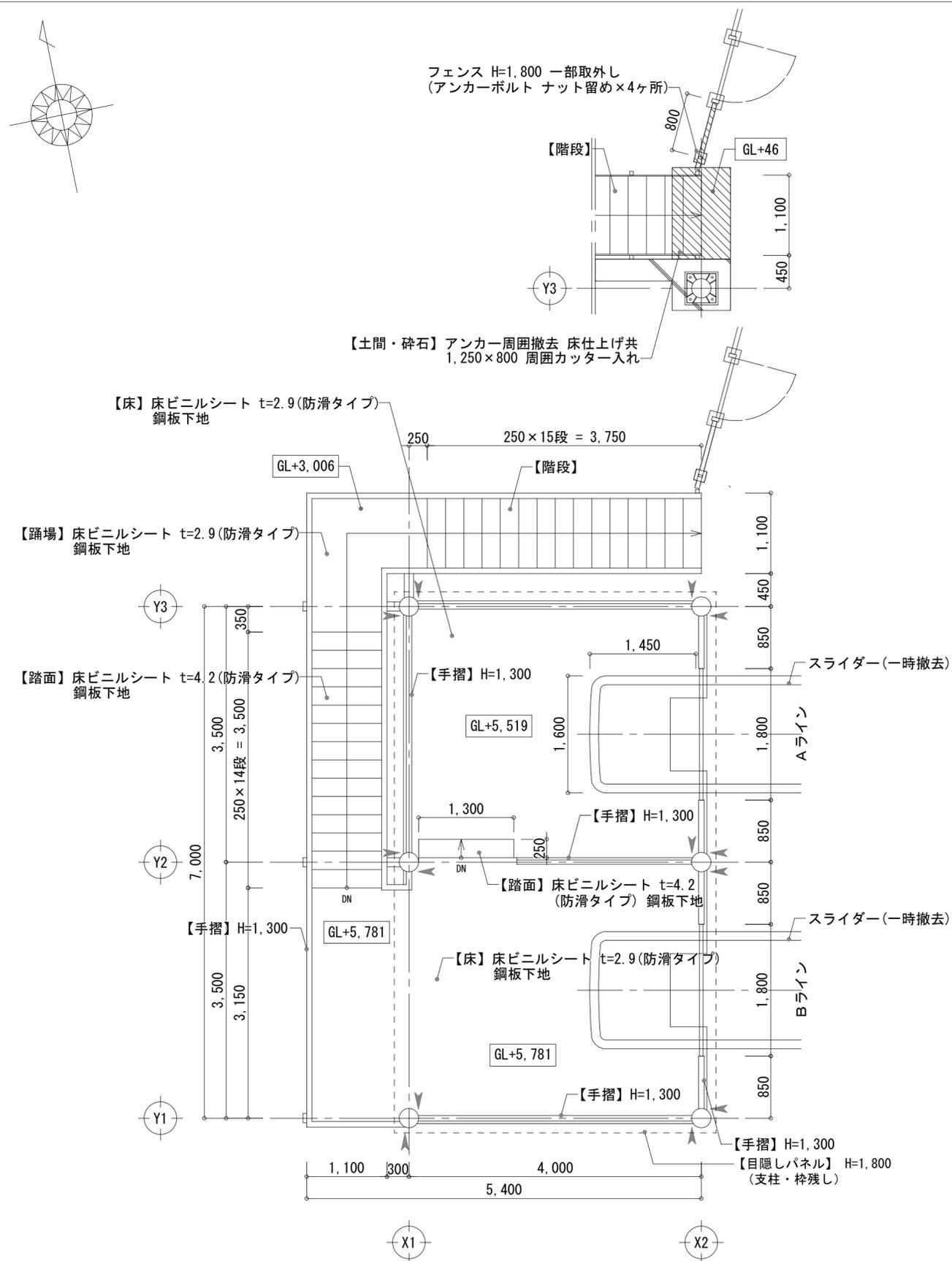


付近見取図



- 凡例
- 工事場所
 - 工事関係者使用範囲
 - 工事関係者動線
 - 交通整理員配置(大型車両進入時)
 - ブルースHEETの上、敷砂+鉄板敷き t=22 (斜線部はゴムマット追加)
※ 鉄板のズレ止め及び段差解消を行うこと。
 - ガードフェンス H=1,800 (チューブライト共)
 - キャスターゲート W=3,000 H=1,800
 - キャスターゲート W=6,000 H=1,800
 - A型バリケード 1,200×800
 - 告知看板 1,000×1,500程度

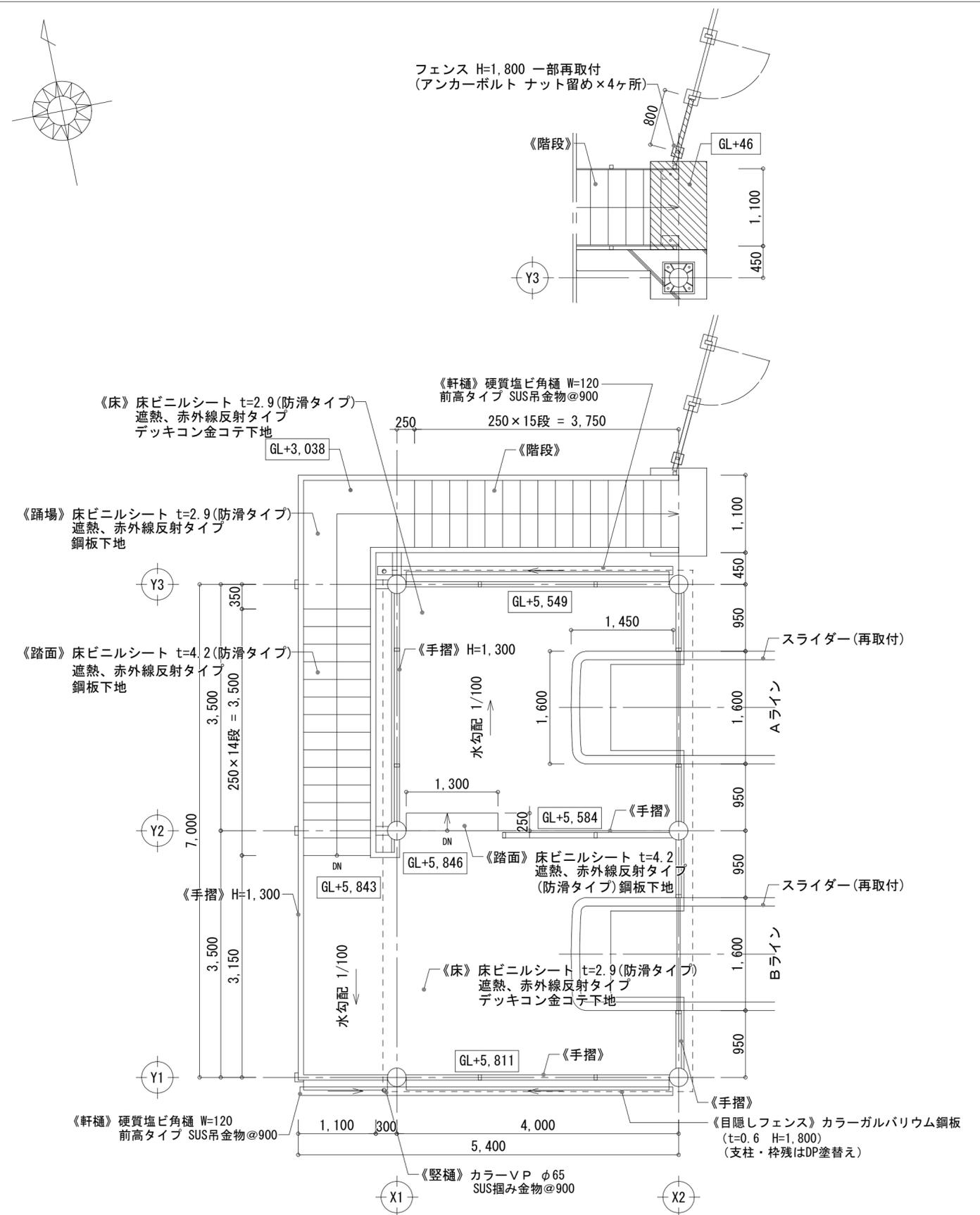
配置図 兼 外部仮設図 S: 1/500



平面図(改修前) S: 1/50

凡例

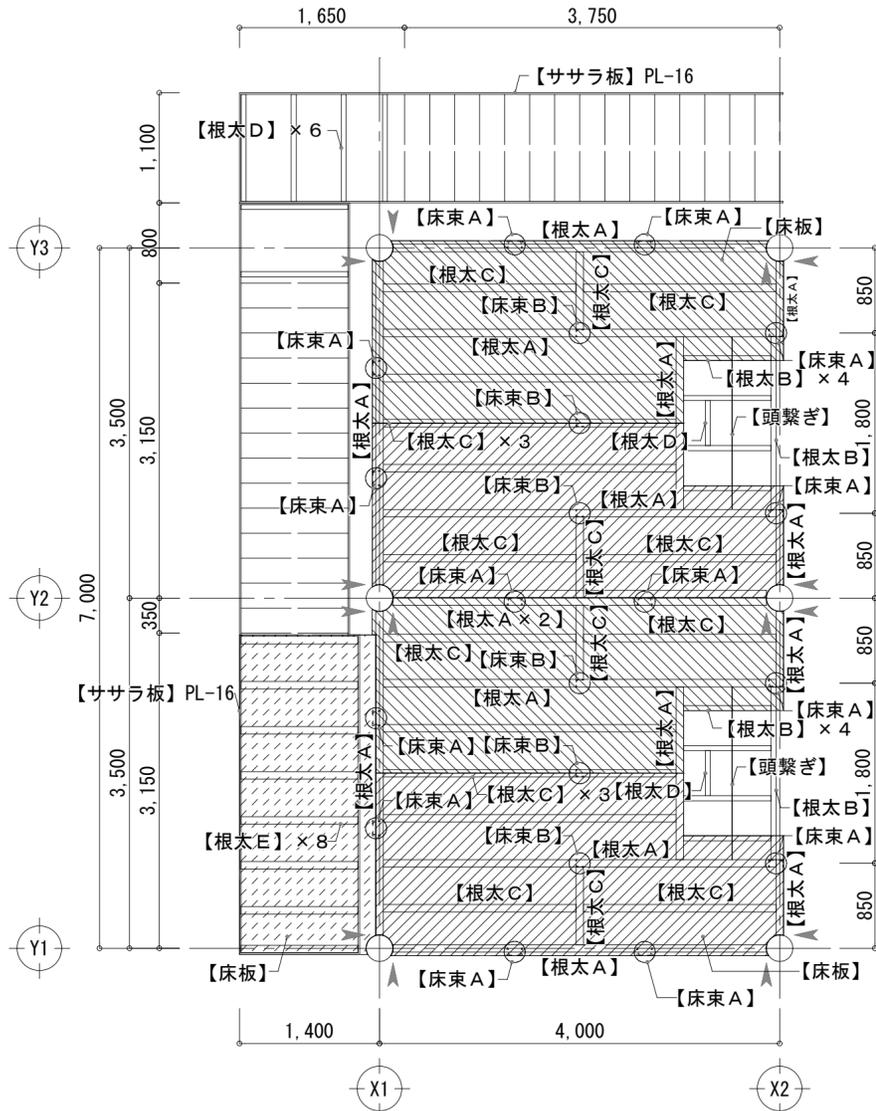
◀ 手摺溶断位置を示す。



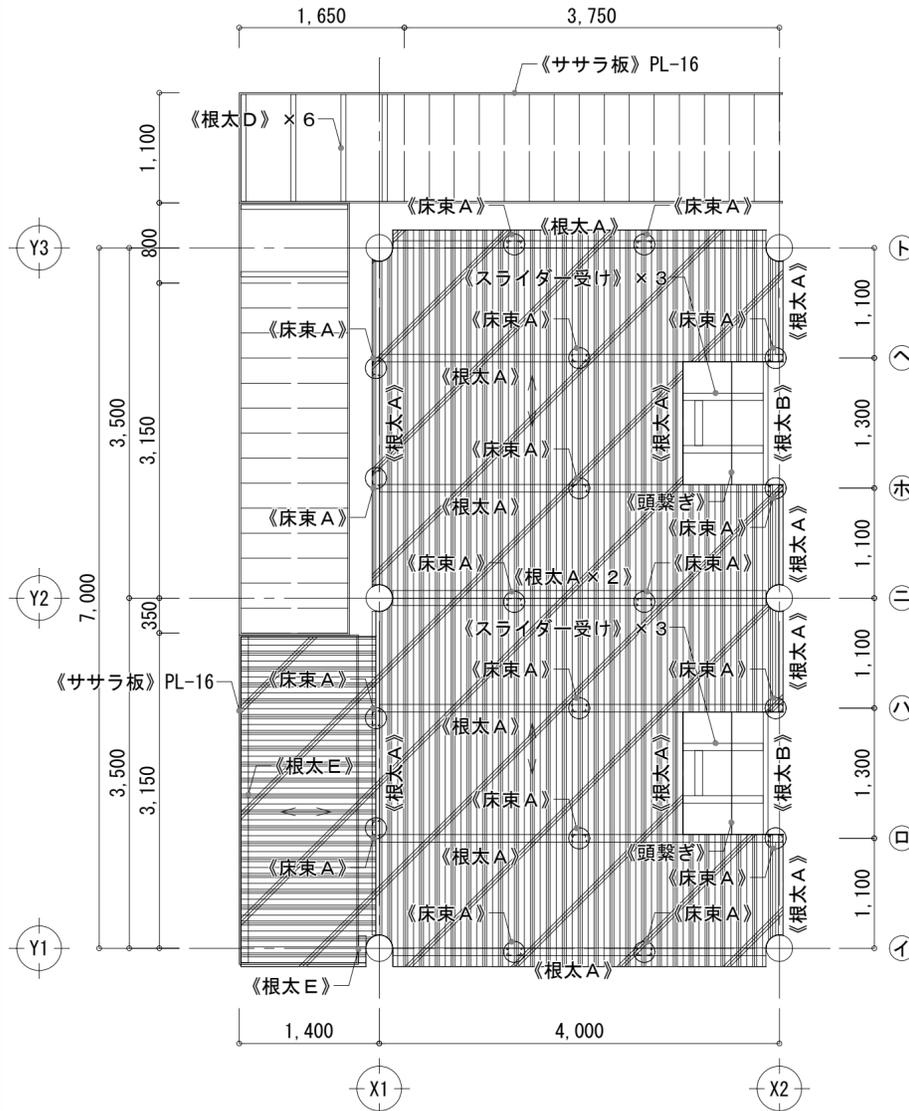
平面図(改修後) S: 1/50

※ 図中床レベルは床コン天端のレベルを示す。
※ スライダー周囲は、スライダーの取付けに支障のないよう、レベル合わせを行うこと。

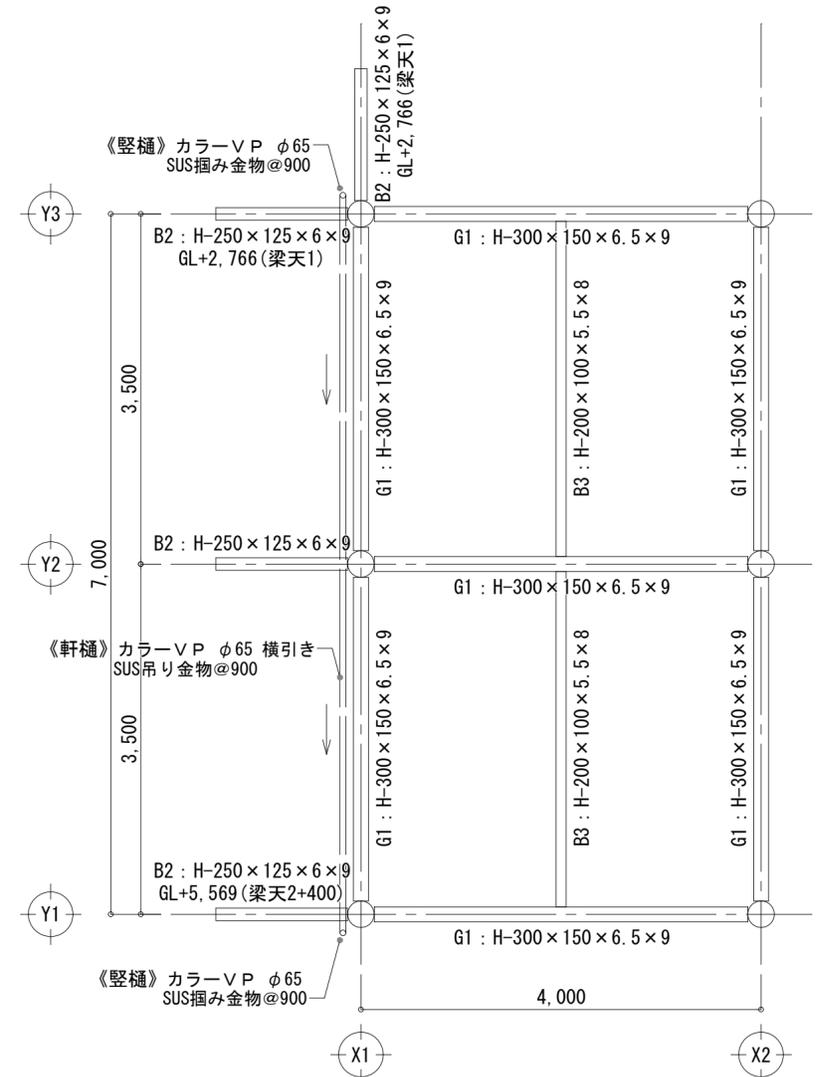
記号	床コン高さ
イ	GL+5.811
ロ	GL+5.822
ハ	GL+5.835
ニ	GL+5.846
	GL+5.584
ホ	GL+5.573
ヘ	GL+5.560
ト	GL+5.549



床組伏図 (改修前) S: 1/50



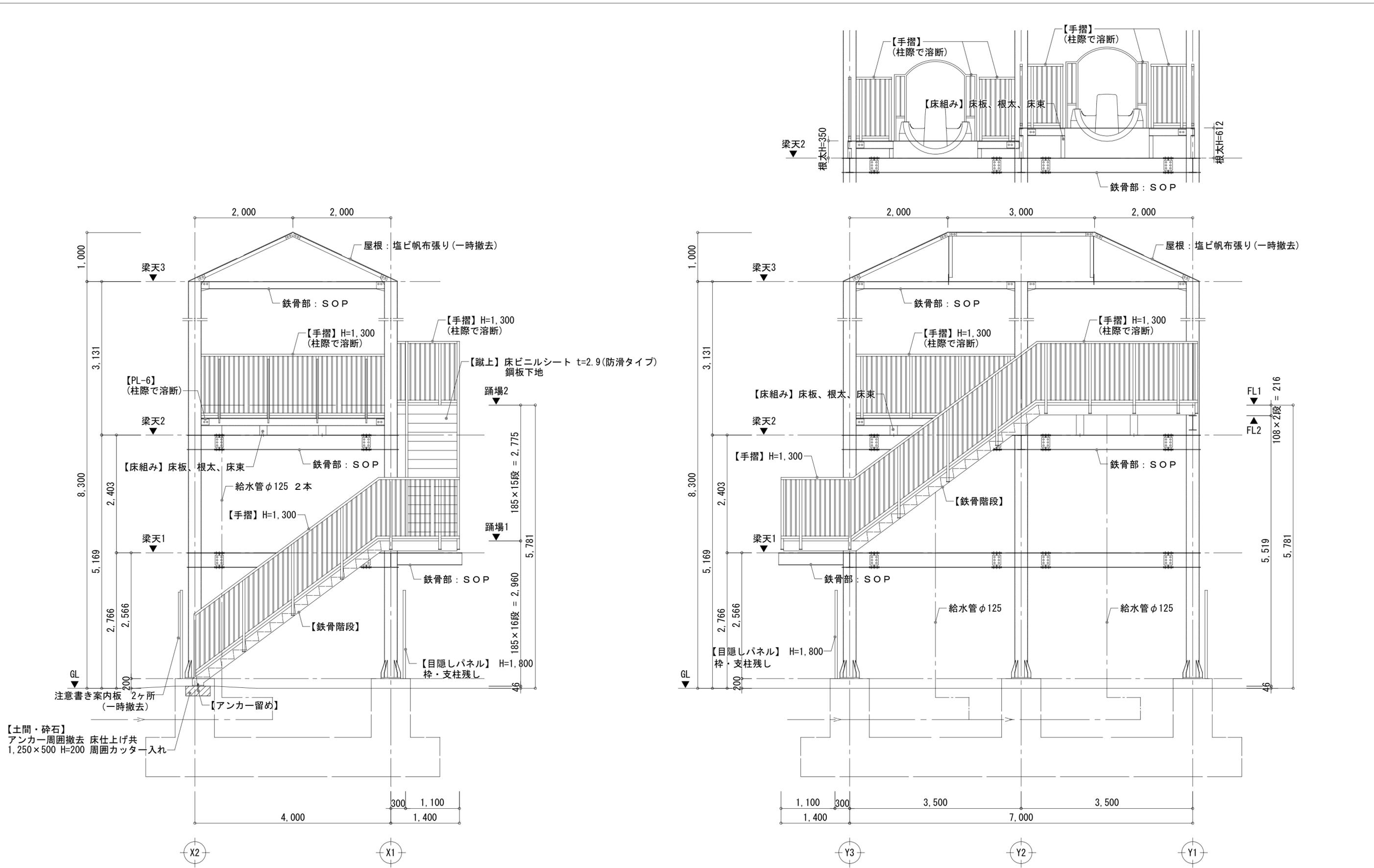
床組伏図 (改修後) S: 1/50

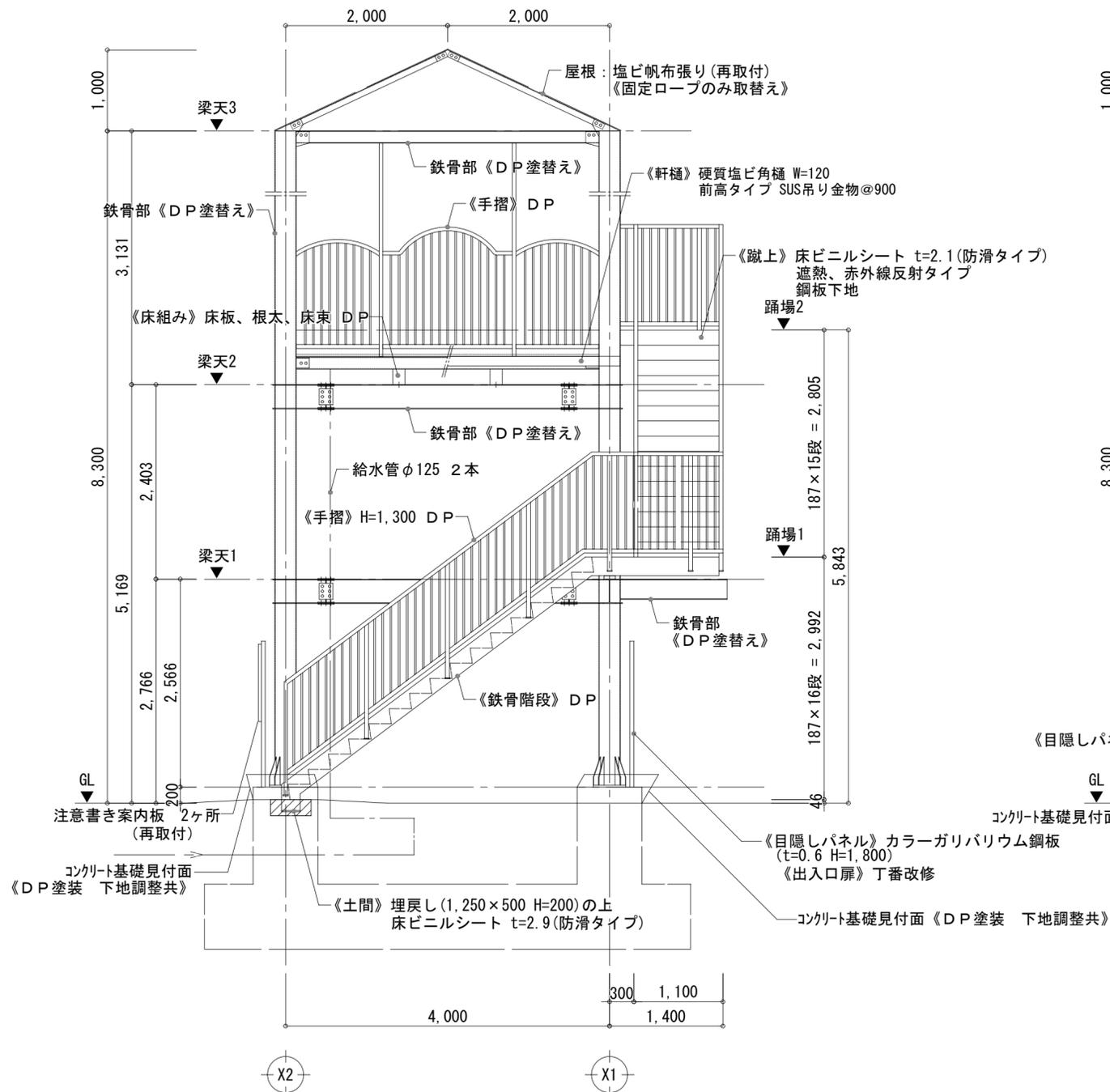


床梁伏図 (改修後) S: 1/50

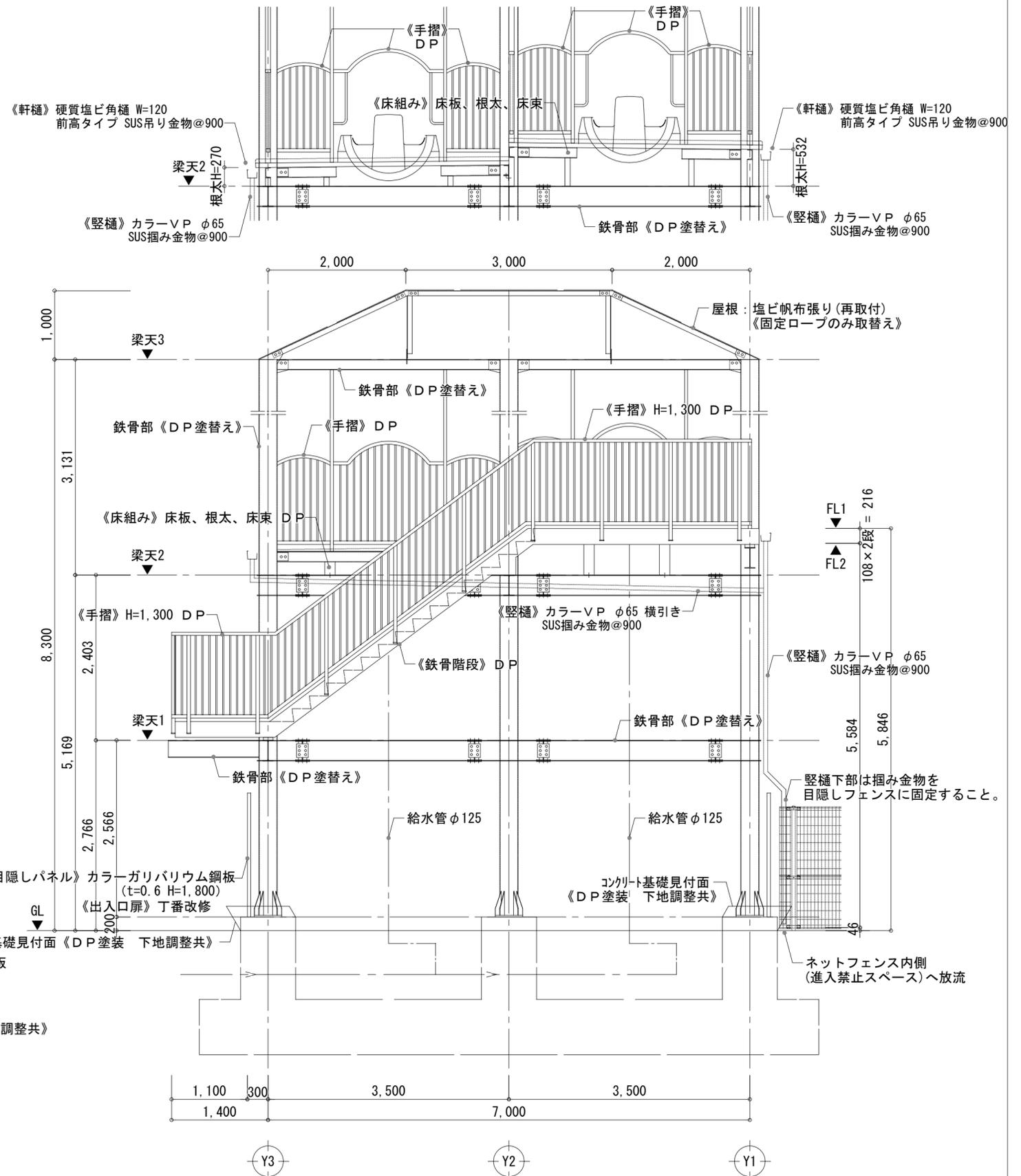
- 凡例
- 全て床板を示す (切替位置で溶断)。
 - 手摺溶断位置を示す。

※ 梁高さは、特記なき限りGL+5.169 (梁天2)。





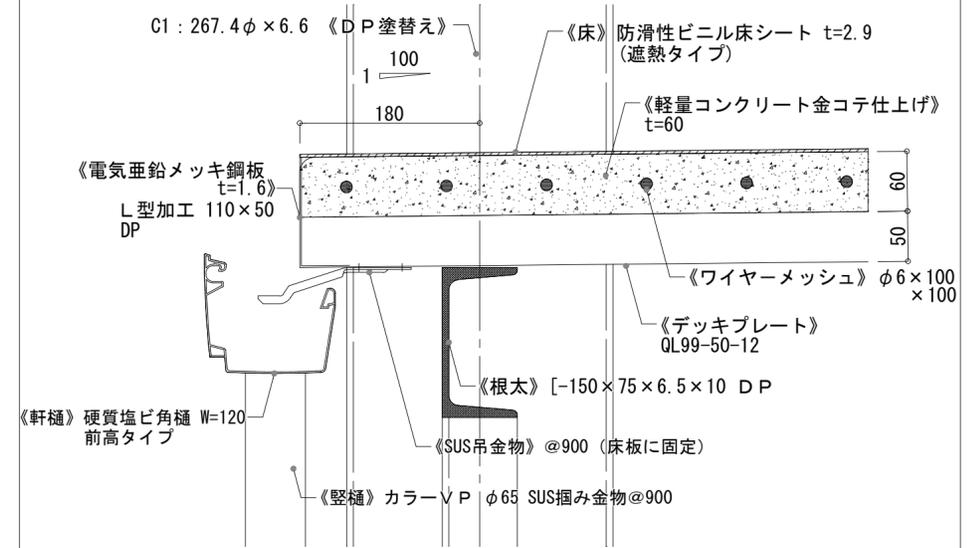
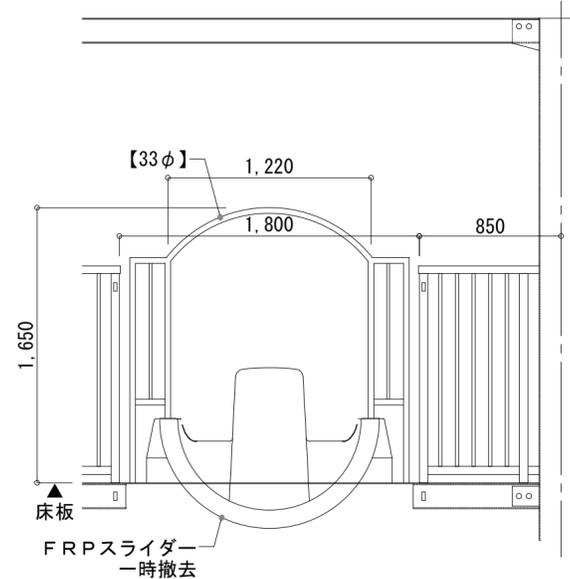
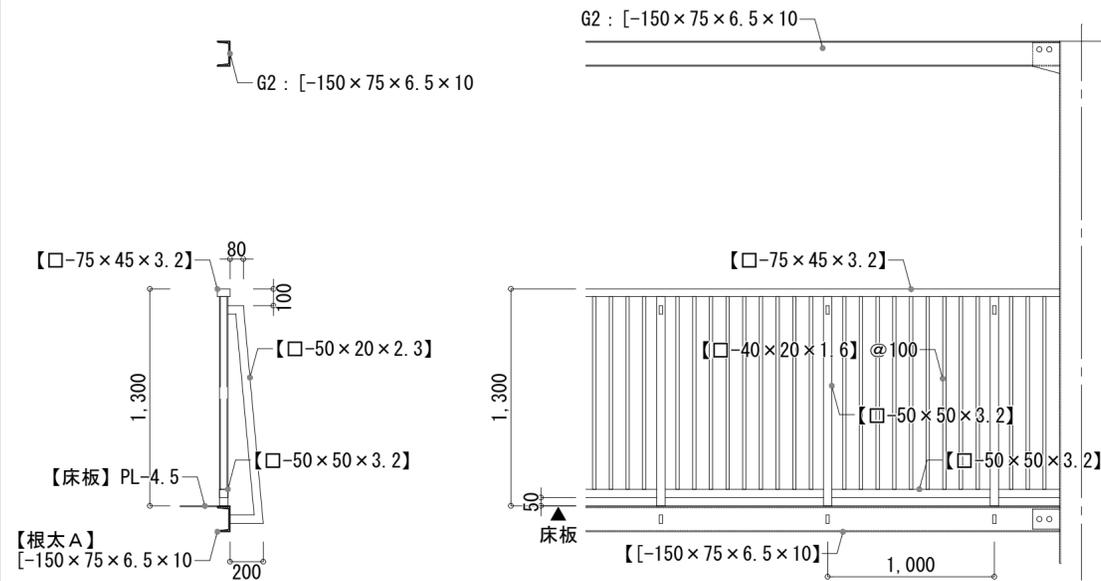
立・断面図 1 (改修後) S: 1/50



立・断面図 2 (改修後) S: 1/50

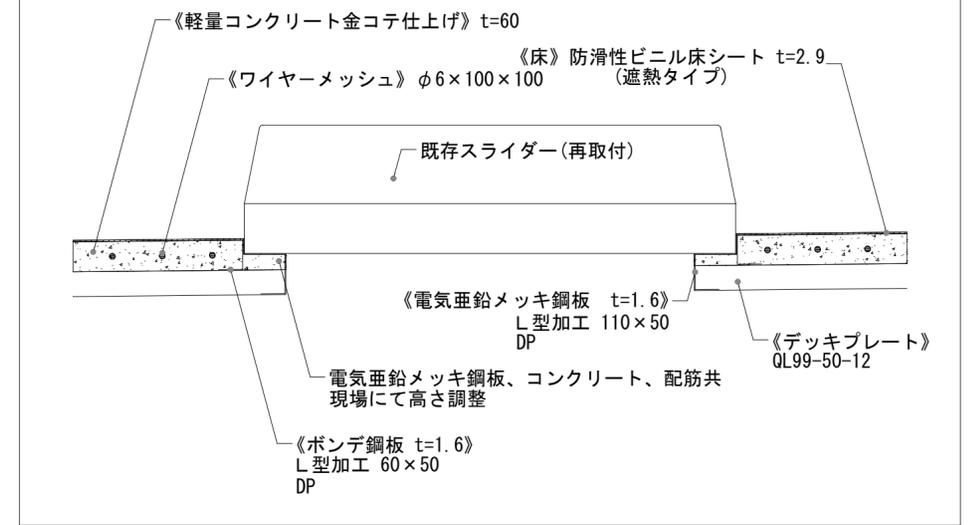
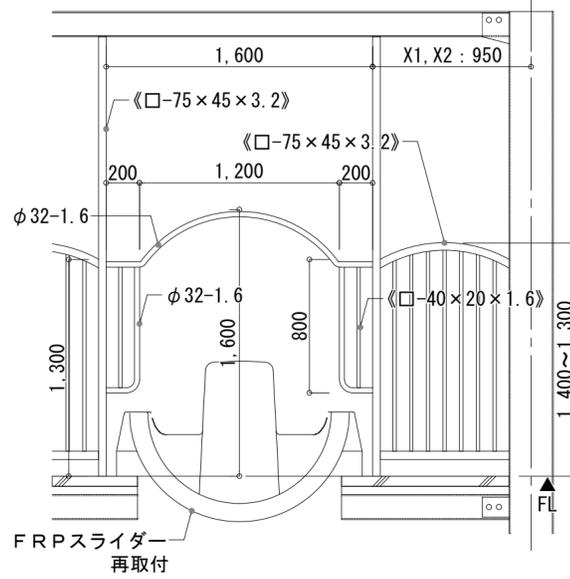
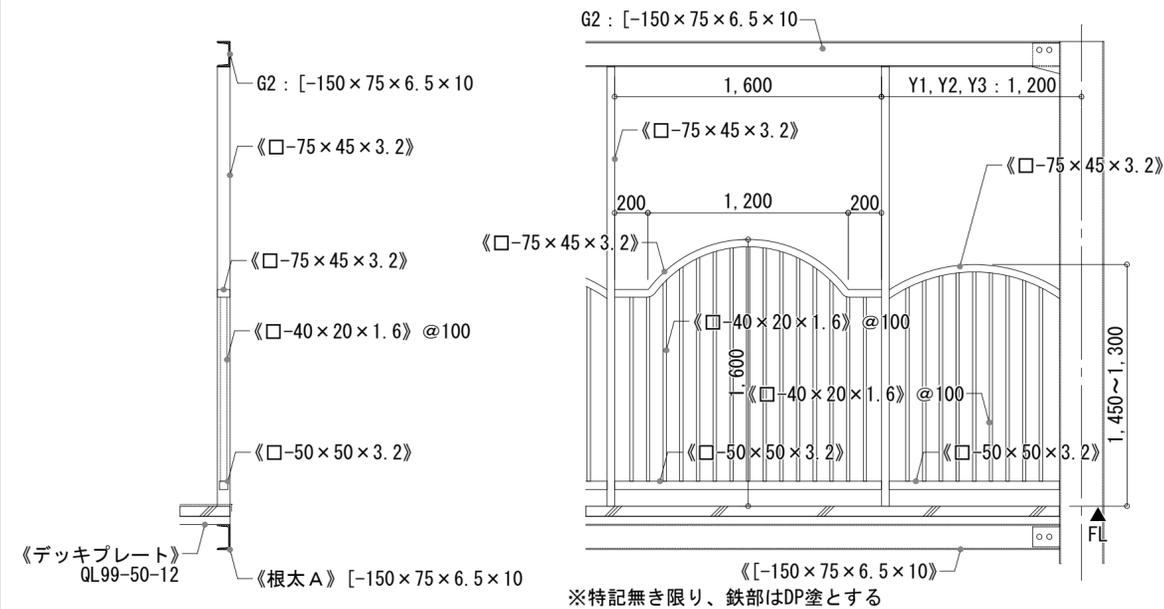
※ 既存鉄骨部は全てDP塗装とする。

改修前

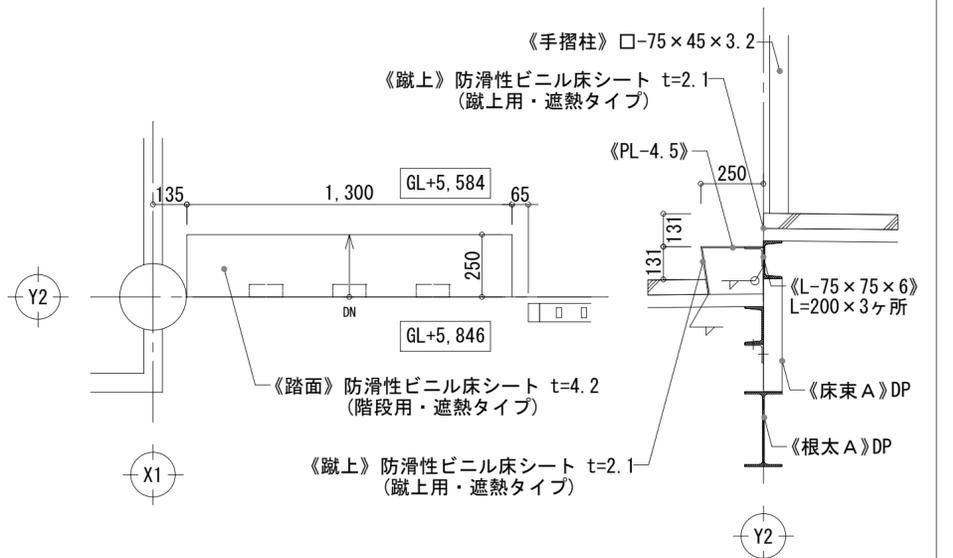
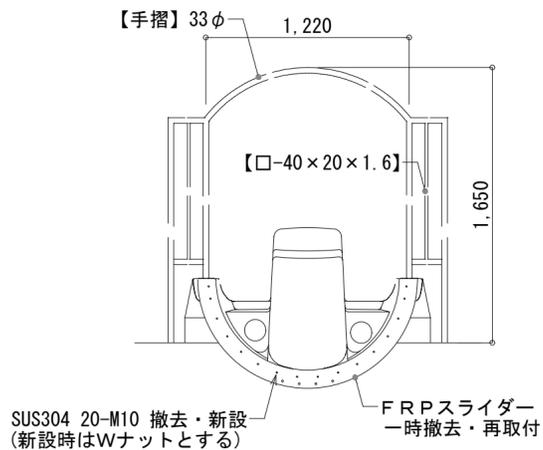
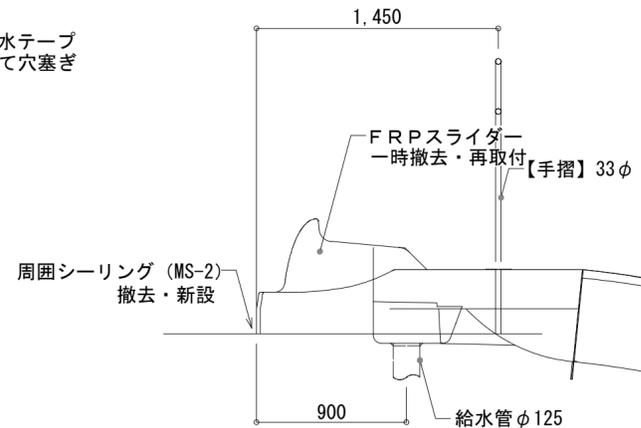
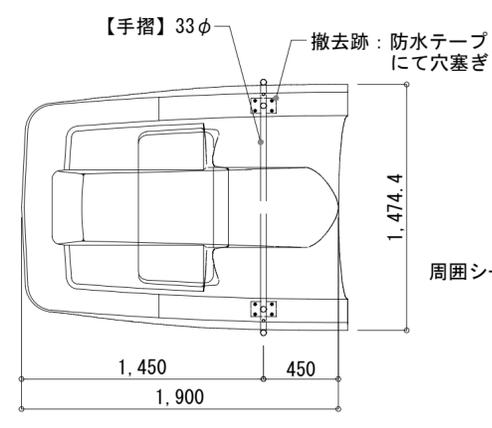


《床》スライダー取合部納まり

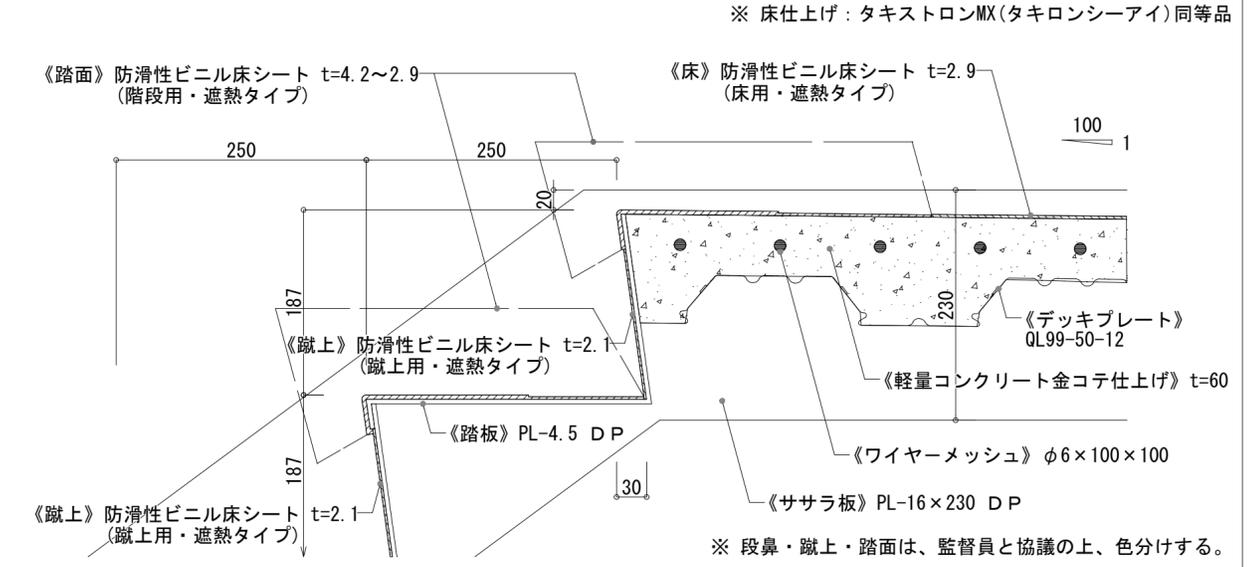
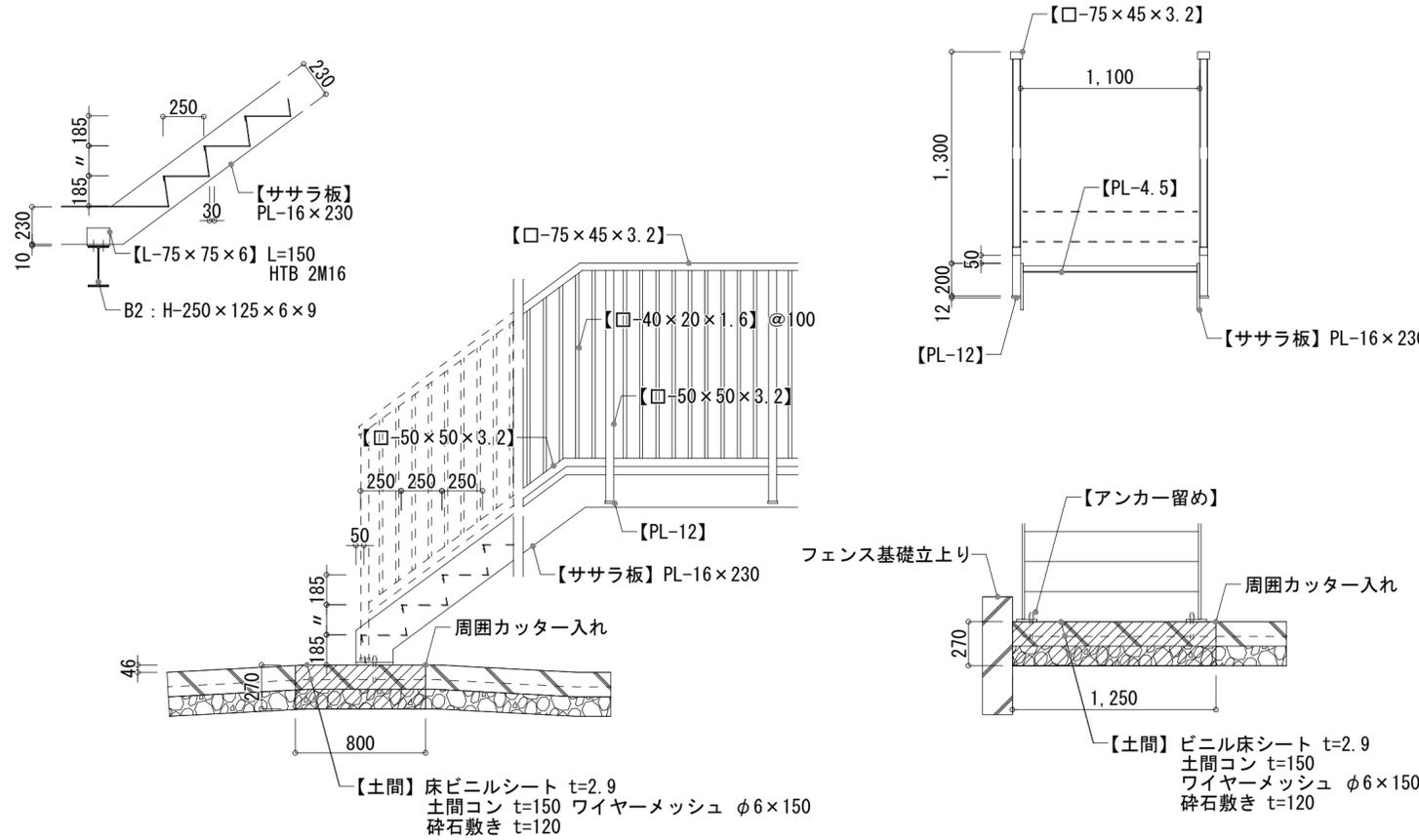
改修後



《Y2通りステップ》納まり

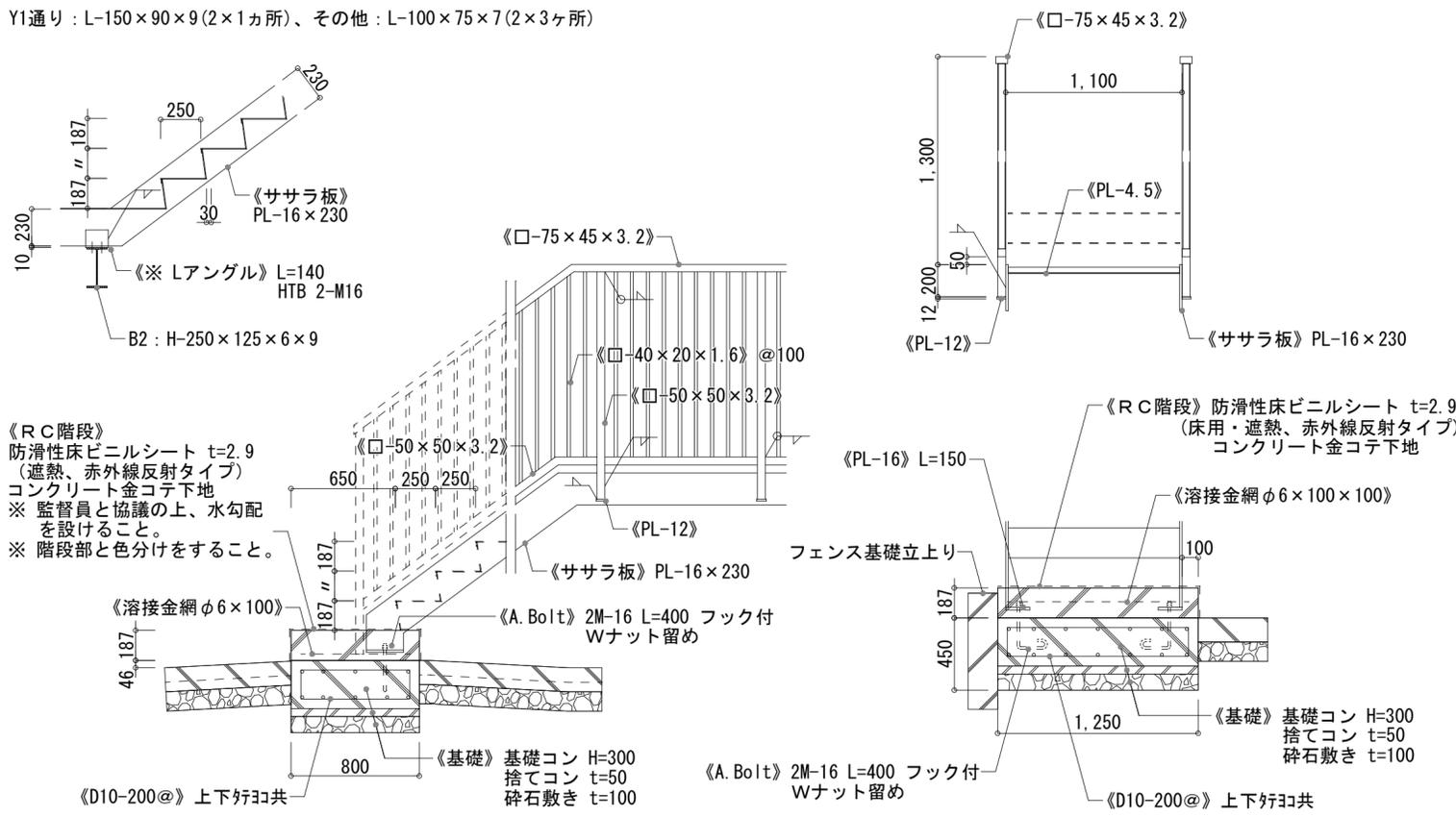


改修前



※ Y1通り : L-150×90×9(2×1カ所)、その他 : L-100×75×7(2×3ヶ所)

改修後



※ 土間・基礎コンクリート : Fc=21 N/mm2、スランブ=15cm

※特記無き限り、見掛け部分はDP塗り

アルテック設計
津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号
伊藤 公智

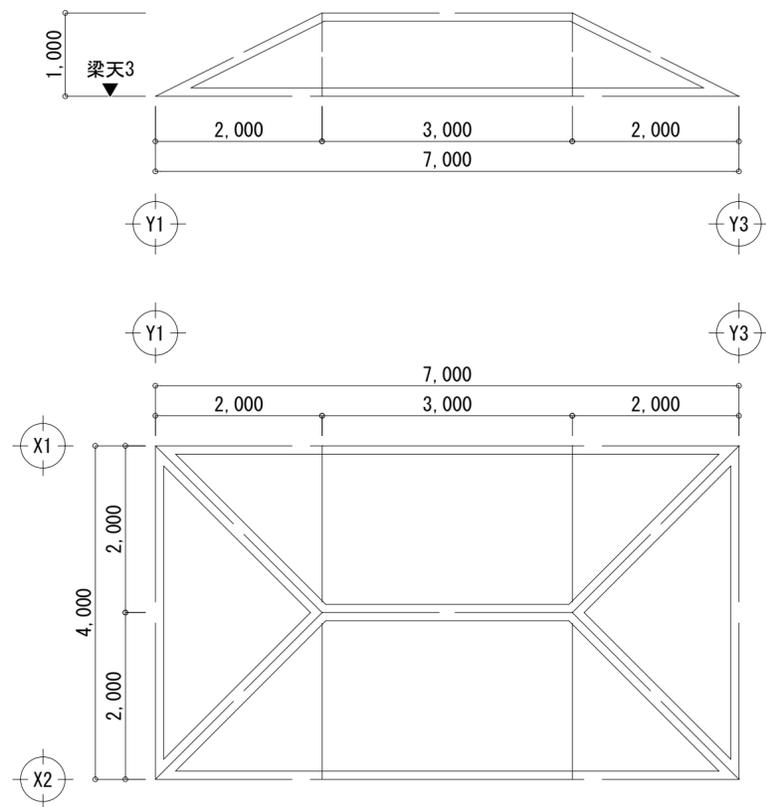
DRAWING BY
DATA

原図 : A2
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市久居中央スポーツ公園内
プールのスライダー改修工事

雑詳細図 2

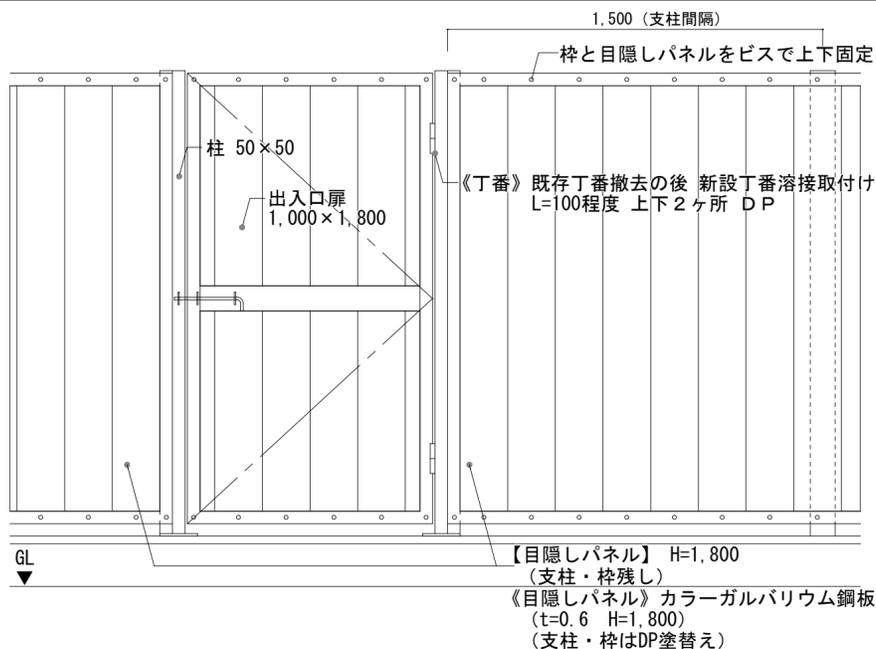
A - 11
S : 図示



凡例

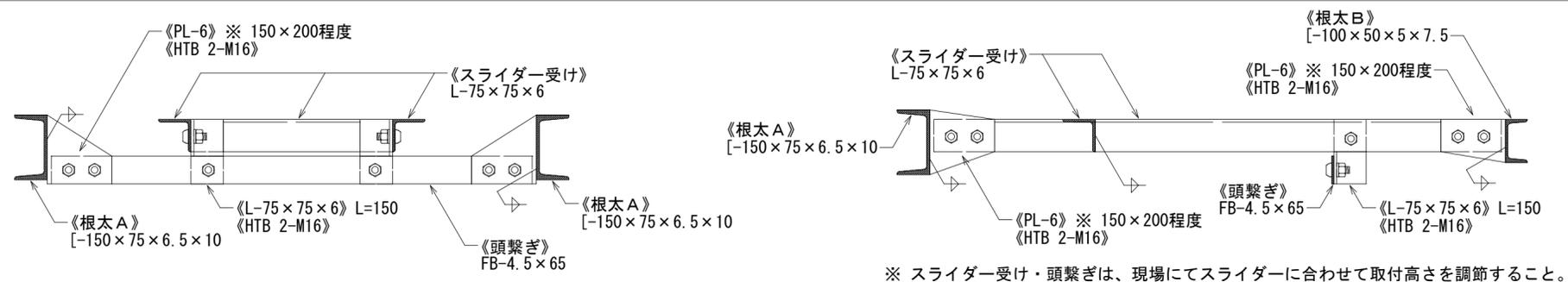
- ロープ位置を示す(ポリエステル金剛打ち φ6)
- テント分割位置を示す

符号	部材(改修前)	部材(改修後)	プレート	ボルト	備考
C1	267.4φ×6.6	既存のまま			
G1	H-300×150×6.5×9	既存のまま			
G2	[-150×75×6.5×10]	既存のまま			
B1	L-75×75×6	既存のまま			
B2	H-250×125×6×9	既存のまま			
B3	H-200×100×5.5×8	既存のまま			
V1	M16	既存のまま			
床板	【PL-4.5】	《PL-6.0》			根太に現場溶接
根太 A	【[-150×75×6.5×10]】	《[-150×75×6.5×10]》	《PL-6》200×120	《HTB 2-M16》	プレートは柱・根太に現場溶接
根太 B	【[-100×50×5×7.5]】	《[-100×50×5×7.5]》			根太接合部分は現場溶接
根太 C	【L-75×75×6】		【PL-6】200×150(根太Aへの接続部) 【PL-6】200×75(根太Cへの接続部)	【HTB 2-M16】 【HTB 2-M16】	
根太 D	【L-50×50×6】				
根太 E	【L-75×75×6】	《L-75×75×6》			
スライダー受け		《L-75×75×6》	《PL-6》150×200程度	《HTB 2-M16》	現場にて取付高さ調整
頭繋ぎ	【FB-4.5×50】	《FB-4.5×65》	《PL-6》150×200程度	《HTB 2-M16》	現場にて取付高さ調整
床束 A	【[-150×75×6.5×10]】	《[-150×75×6.5×10]》	《PL-9》200×150	《HTB 2-M16》	根太接合部分は現場溶接
床束 B	【L-75×75×6】		【PL-9】200×75	【HTB 2-M16】	
階段床	【PL-4.5】	《PL-4.5》			
ササラ板	【PL-16×230】	《PL-16×230》	《L-150×90×9》L=140(2ヶ所)、《L-100×75×7》L=140(6ヶ所)	《HTB 2-M16》	Lアングル接合部分は現場溶接
手摺	【□-75×45×3.2】	《□-75×45×3.2》			柱・手摺柱接合部分は現場溶接
手摺柱	【□-50×50×3.2】	《□-75×45×3.2》			梁接合部分は現場溶接
手摺子受け	【□-50×50×3.2】	《□-50×50×3.2》			柱・手摺柱接合部分は現場溶接
手摺子	【□-40×20×1.6】@100	《□-40×20×1.6》@100			
塗装	全てSOP塗装	全てDIP塗替え(新設部共)			

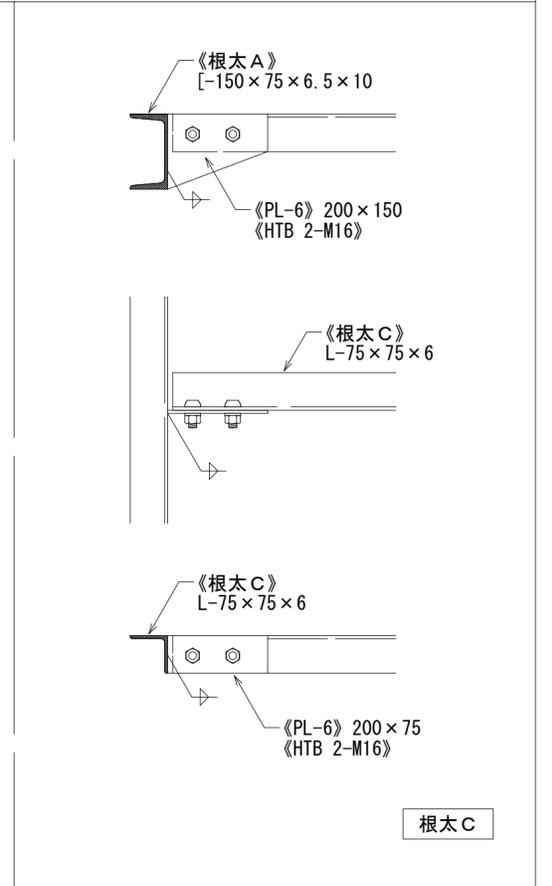
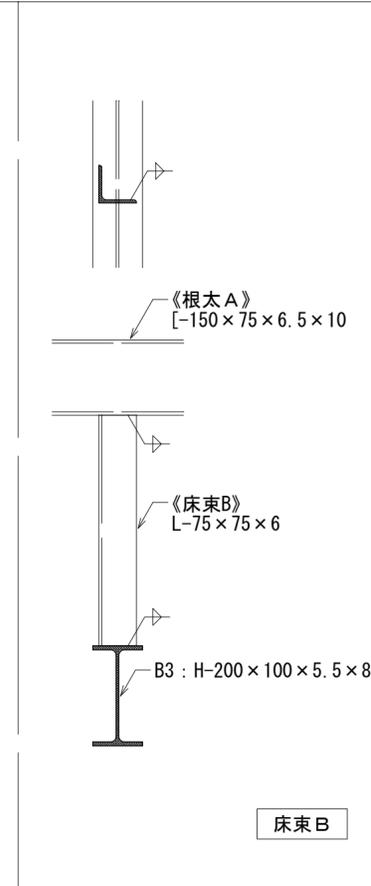
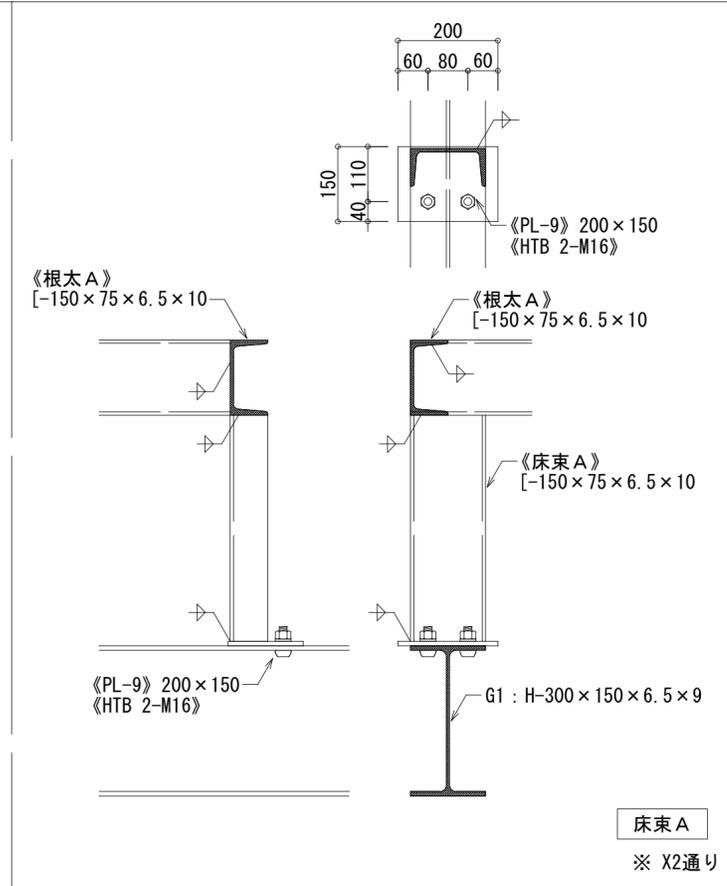
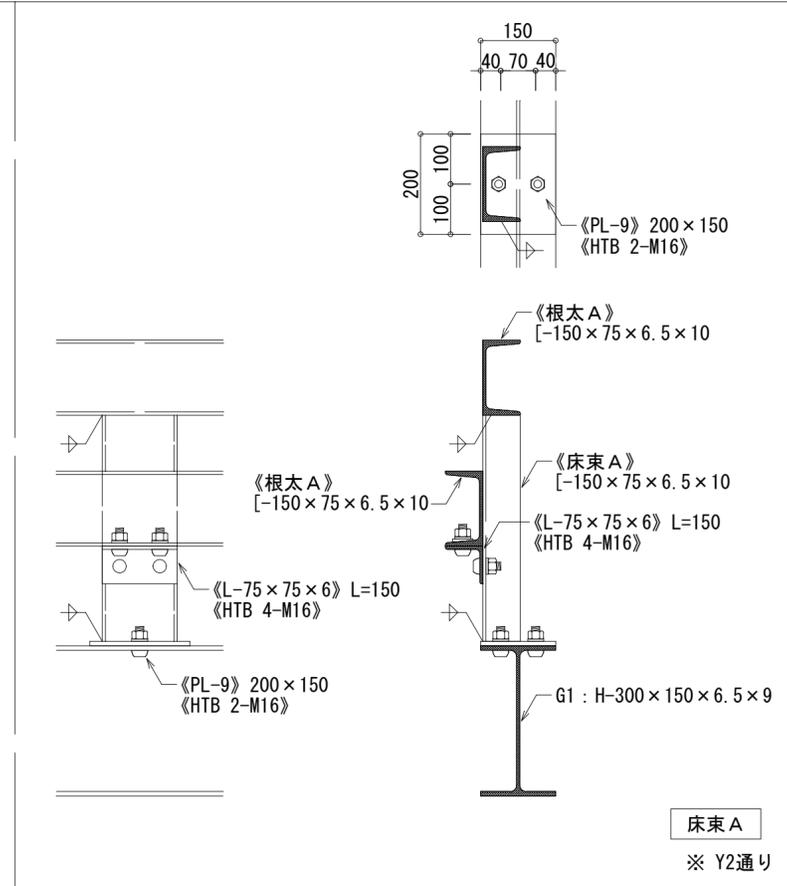
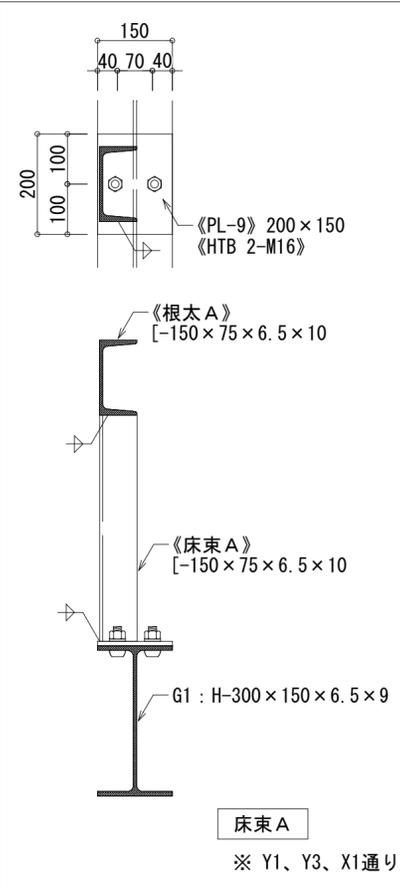
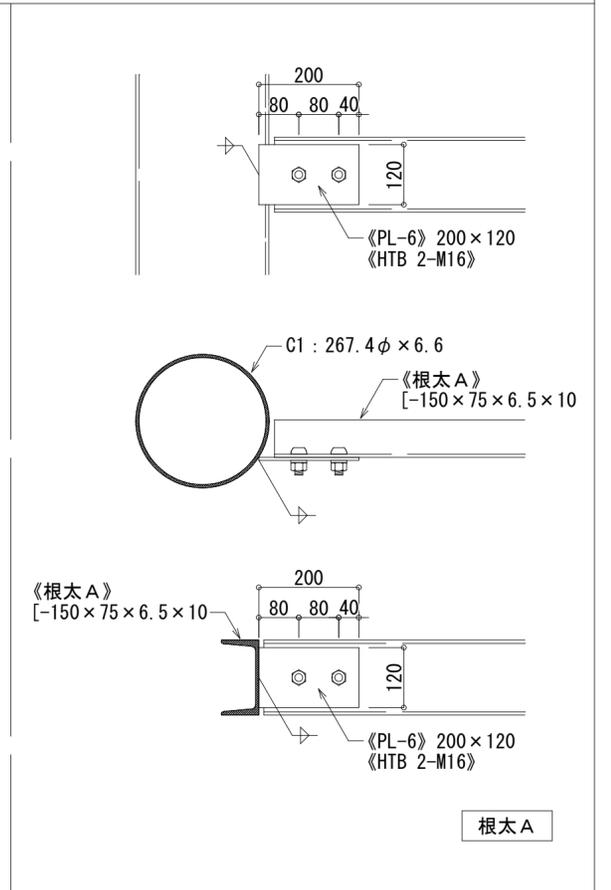
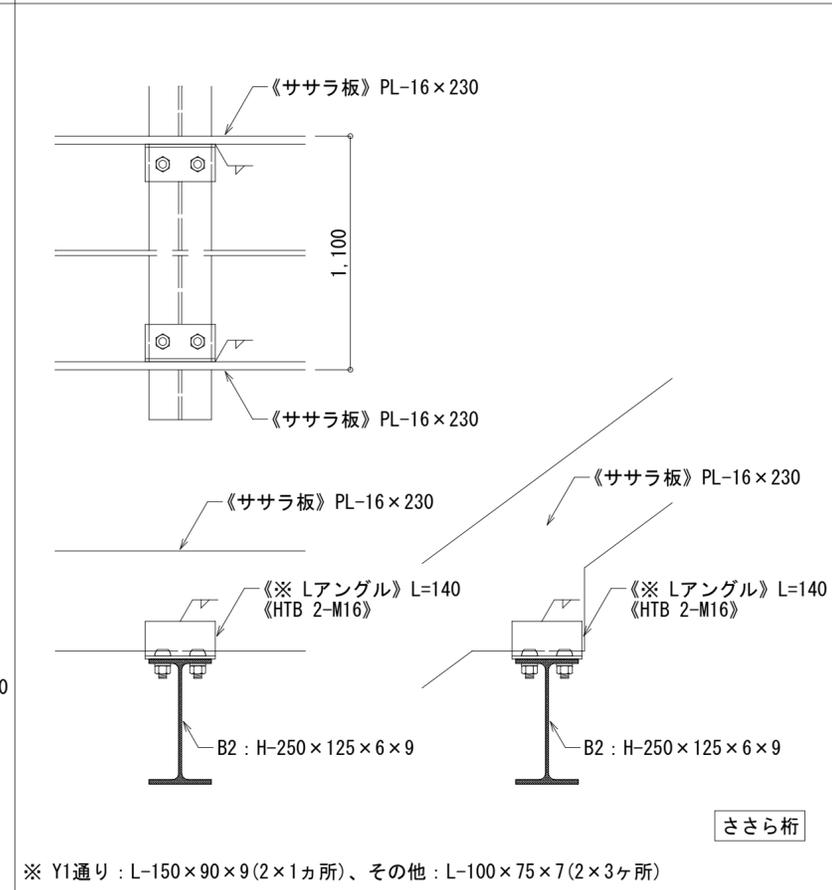
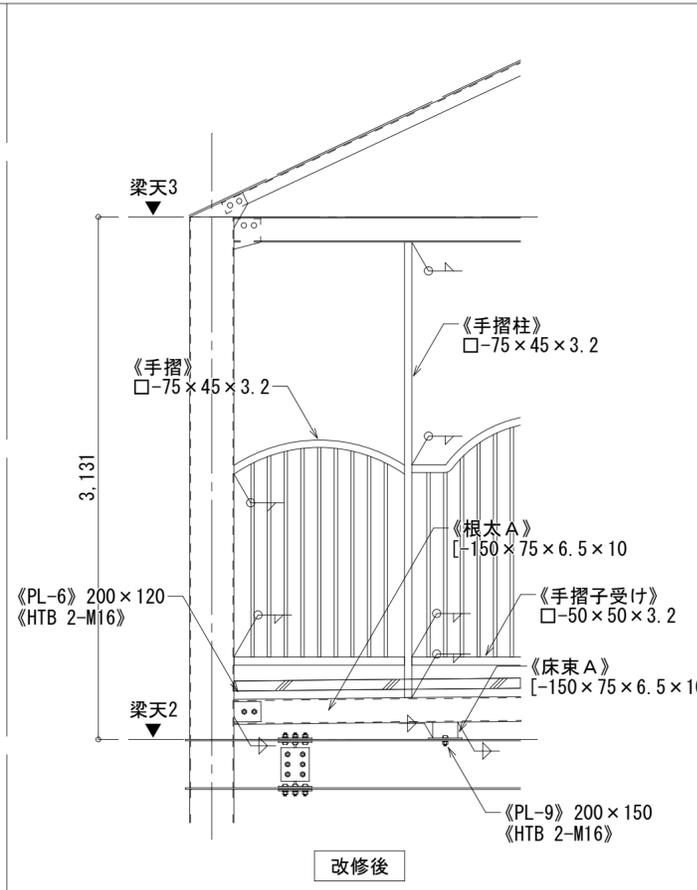
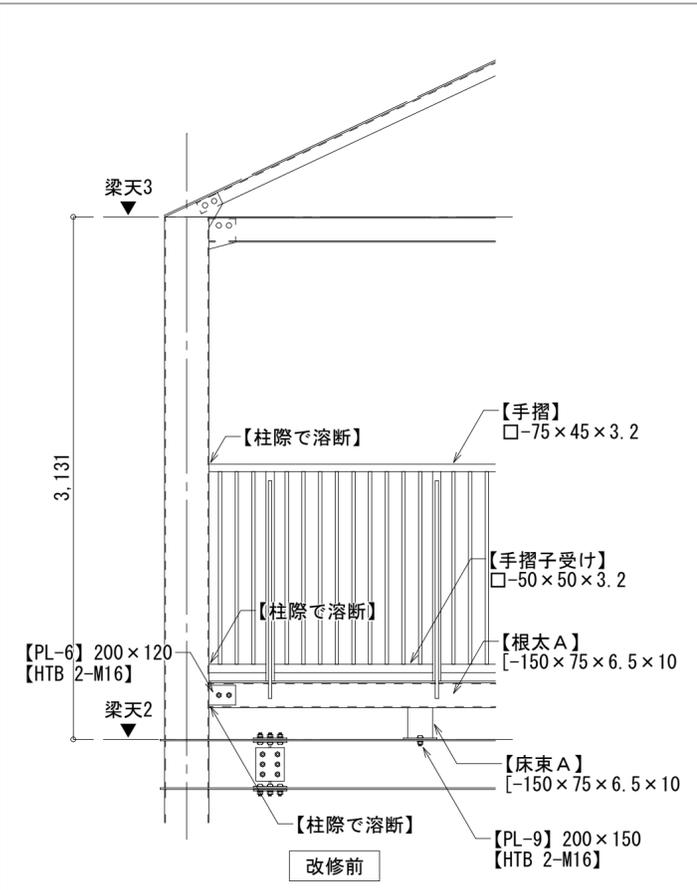


鋼材(新設部材) : SS400、STKR400(手摺部材) 高力ボルト : S10T ※ 特記なきものは工場溶接とする。
 高力ボルト : S10T 土間・基礎コンクリート : Fc=21 N/mm2 (スランプ=15cm) デッキコンクリート(軽量) : Fc=21 N/mm2 (スランプ=15cm)

接合部詳細図



※ スライダー受け・頭繋ぎは、現場にてスライダーに合わせて取付高さを調節すること。



構造設計特記仕様書

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 建築場所	津市久居中央スポーツ公園内プールスライダー改修工事 津市 戸木町 地内
(2) 工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input checked="" type="checkbox"/> 改修
(3) 構造種別	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造 (S) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (RC) <input type="checkbox"/> 木造 (W) <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造 (WR C) <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)
(4) 階数	地下 階 地上 2 階 塔屋 階
(5) 主要用途	プール
(6) 屋上付属物	<input type="checkbox"/> 高架水槽 <input type="checkbox"/> KN <input type="checkbox"/> キューピクル <input type="checkbox"/> KN <input type="checkbox"/> 広告塔 <input type="checkbox"/> 煙突
(7) 特別な荷重	<input type="checkbox"/> エレベーター 人乗 (ロマシンレス ロープ式 <input type="checkbox"/> 油圧式) <input type="checkbox"/> リフト <input type="checkbox"/> KN <input type="checkbox"/> ホイスト <input type="checkbox"/> KN <input type="checkbox"/> 受水槽 <input type="checkbox"/> KN <input type="checkbox"/> 倉庫積載床用 <input type="checkbox"/> N/m ²
(8) 付帯工事	<input type="checkbox"/> 門扉 <input type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> 駐輪場 <input type="checkbox"/> 機械式駐車場 <input checked="" type="checkbox"/> 倉庫
(9) 増築計画	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無
(10) 構造計算ルート	X方向ルート - Y方向ルート -

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c -N/㎠	品質基準強度 F _g -N/㎠	調合管理強度 F _m -N/㎠	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	■普通	18			15	
土間コンクリート	■普通	21			15	
基礎、基礎床	■普通	21			15	
柱、梁、壁、床	□普通 □軽量	21			15	比重
デッキ上コンクリート	□普通 ■軽量	21			15	比重
押えコンクリート	□普通 □軽量					比重
細骨材の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 砂 <input type="checkbox"/> 山砂 <input type="checkbox"/> 人工 <input type="checkbox"/>					
粗骨材の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/> 人工 <input type="checkbox"/>					
水の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 工業用水 <input type="checkbox"/>					
混和材料の種類	<input type="checkbox"/> AE減水剤 <input type="checkbox"/> 高性能AE減水剤 <input type="checkbox"/>					

注) 表中の構造体強度補正值 28 S₉₁ は3N/㎠以上の数値とし、下表による。

■ 構造体強度補正值 28 S₉₁ の標準値 (JASS5 2009年版より)

セメントの種類	コンクリートの打込みから28日までの期間の 予想平均気温θの範囲 (°C)	補正值
普通ポルトランドセメント	8 ≤ θ	0 ≤ θ < 8
構造体強度補正值 28 S ₉₁ = N/㎠ ²	3	6

注) 暑中期間における構造体強度補正值 28 S₉₁ は6N/㎠とする。

(2) コンクリートブロック (CB)

種別	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種	厚さ	<input type="checkbox"/> 100 <input type="checkbox"/> 120 <input type="checkbox"/> 150 <input type="checkbox"/> 190
----	---	----	---

(3) 鉄筋

種類	品質	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input type="checkbox"/> SD295A	D16以下	構造図による	<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> ガス圧接継手 <input type="checkbox"/> 特殊継手 ()
	<input type="checkbox"/> SD295B			
	<input type="checkbox"/> SD345	D19以上		
高強度せん断補強筋			構造図による	
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235			
溶接金網 (JIS G3551)	■ワイヤーメッシュ φ6×100			

(4) 鉄骨 ※使用箇所の詳細については伏図、軸組図、部材リストを参照のこと。

	種類	使用箇所	認定
形鋼	■SS400		JIS G3101
	□SM490A		JIS G3106
鋼板	□SN400A	□SN400B □SN400C	JIS G3136
	□SN490B	□SN490C	
	□SN490A	□SN490C	
丸形鋼管	□STK400	□STK490	JIS G3136
	□STKM400W	□STKN400B □STKN490B	JIS G3475
	■STKR400	□STKR490	JIS G3466
角形鋼管	□BCR295	□UBCR365	大臣認定
	□BCP235	□BCP325	大臣認定
軽量形鋼	□SSC400		JIS G3350

(5) ボルト ※使用箇所と詳細については伏図、軸組図、部材リストを参照のこと。

高力ボルト	<input type="checkbox"/> F10T <input checked="" type="checkbox"/> S10T <input type="checkbox"/> F8T 認定品(□M12 □M16 □M20 □M22 □M24)
中ボルト	□M12 □M16
頭付ボルト	φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)
7かぶボルト	□SS400 □SS490 ■ABR400 □ABR490 □ABM400 □ABM490

(6) 屋根、床、壁

<input type="checkbox"/> ALC版 厚 t=125	<input type="checkbox"/> スライド構法	<input type="checkbox"/> ボルト止め構法	<input type="checkbox"/> ロッキング構法
<input type="checkbox"/> 折版 厚 t= H=			
<input type="checkbox"/> デッキプレート 型式	厚 t=		
<input type="checkbox"/> キーストンプレート 型式	厚 t=		
<input type="checkbox"/> 合成スラブ用デッキプレート (QLデッキ QL 99-50-12)			

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

<input type="checkbox"/> 有 (□敷地内 □近隣)	<input type="checkbox"/> 調査予定	<input type="checkbox"/> 標準貫入試験
<input type="checkbox"/> ボーリング調査	<input type="checkbox"/> 静的貫入試験	<input type="checkbox"/> 物理探査
<input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定	<input type="checkbox"/> 土質試験	<input type="checkbox"/> 液状化判定
<input type="checkbox"/> 試験錐(支持層の確認)	<input type="checkbox"/> 平板載荷試験	<input type="checkbox"/> P S測定
<input type="checkbox"/> スクウェーデン計サウンディング	<input type="checkbox"/> 現場透水試験	

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成

深度 土質	N値	標準貫入試験					
		10	20	30	40	50	60
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

4. 地業工事

(1) 直接基礎 □ベタ基礎 □独立基礎 □布基礎 地盤改良 □有 □無

深さ	
支持層	
地盤改良工法	

長期許容支持力 KN/㎡
載荷試験 □有 □無

(2) 杭基礎 支持層 - 砂

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PRC	PRC (<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメントミルク工法)	TACPO520
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	<input type="checkbox"/> 回転設置	
<input type="checkbox"/> 先端羽根付き鋼管	□STK490 (羽根 SM490A)	<input checked="" type="checkbox"/>	
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート F _c = N/㎠ スランプ セメント量 KN/㎥ 鉄筋 主筋 SD 鉄筋 HOOP SD	□オールケーシング □拡底杭 □リバース サーキュレーション □アースドリル □ミニアース	認定 第 年 月 日

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試験杭 (□有 □無) (□打ち込み □載荷 □孔壁測定) 1本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

本標準仕様及び鉄筋コンクリート構造配筋標準図はコンクリートの設計基準強度 (F_c)が36N/㎠以下に適用する

(1) コンクリート

■コンクリートは JIS 認定工場の製品とし、施工に関しては JASS5 (2009) による。

□耐久設計基準強度 F_d □短期 □標準 □長期 □超長期

■セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。

■調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場計かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150 m³をこえる場合は、150 m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用13本を用いる。

■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

□鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。施工はJASS5 (2009) による。

□高強度せん断補強筋は、JISG3137Iに規定されるD種1号適合品とする。

□鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。

□D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接工事」による。

□ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えときには、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 □有 □無、引張試験 □有 □無、超音波試験 □有 □無

□柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。

■コンクリート及び鉄筋の試験は、公的機関で行うこと。

試験機関名
代行業者名

代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠

□材料 合板厚 12mm を標準とする。

□施工は JASS5 (2009) による。

■型枠存置期間

種別	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下
			早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	
コンクリート	2	3	4	6	8
15℃以上	3	5	6	10	12
5℃未満	5	8	10	16	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/㎠	設計基準強度の50%		8.5%	10.0%

注) 1 片持ばり、庇、スパン 9.0 m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。

注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材またはこれに代わるものを用意。

注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終了してから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は、工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は特記又は指示のない限り下記による

□日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度測定指針」「鉄骨工事技術指針」

(2) 工事監理者の求めにより承認を必要とするもの

■製作要領書 ■施工計画書 ■工作圖 ■社内検査表

■材料規格証明書または試験成績書 ■鋼材 ■高力ボルト及び高強度ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド

(3) 工事監理者が必要に応じ行う検査項目

□組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 ■原寸検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度測定指針」「鉄骨工事技術指針」によること。

(5) 鉄骨製作工場

■製作工場 Jグレード

2) 認定をした構造方法又は建築材料の名称

鉄骨製作工場において溶接された鉄骨の溶接部

3) 鉄骨製作工場の名称及び所在地

名 称
所在地

(6) 接合部の検査

□溶接部の検査

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
□完全溶込み溶接部	超音波探傷試験 外観(目視)検査(※) マクロ試験・その他	100	100	100	※平成12年建設省告示第146号第二号による(目視及び計画)
		個	個	個	
		個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関名とは、建築士、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注) 1 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査を行うこと。

注) 2 現場溶接部については原則として外観検査、超音波探傷試験を100%行うこと。

(7) 防錆塗装および防錆仕様

□防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。ただし、コンクリートの付着に期待しない柱脚部分(ベースプレート表面を除く)および2階床廻り部分(デッキ設置面およびコンクリート接触部分)、耐火被覆部分については防錆塗装を行うものとする。

工場塗装の錆止め塗料はJIS K5674 (1種または2種)相当1塗り塗を標準とする。

□現場における接合部(高力ボルト接合部など)の塗装は工場塗装と同じ錆止め塗料を使用し、1塗りとする。

A. 主構造(柱梁)の防錆仕様

◆工場錆止め塗装(同等品)

・グレー錆止め塗装(標準塗装)：下記 1 または 2 とする。

1 工 程：工場 下塗 一回(2.5μ) 塗装方法：ディップ塗装

塗料名：ディップコート 横河グレイ JIS K5674 2種 相当

塗料色：グレー BN-5.0 近似

2 工 程：工場 下塗 一回(3.5μ) 塗装方法：スプレー塗装

塗料名：YBプライマー JIS K5674 1種 相当

塗料色：グレー BN-5.0 近似

◆工場仕上げ塗装

・カラー仕上げ塗装(オプション) ※フレーム、間柱、クレーンガーターに適用

※カラー仕上げ塗装は、下塗1回/上塗1回とする

※下塗は工場錆止め塗装に示す 1 または 2 による

塗装方法：スプレー塗装

上塗工程：工場 上塗 一回(2.5μ) JIS K5516 1種

塗料名：Hi-CRデラックスエコ JIS K5674 2種 相当 (合成樹脂顔料含有)

塗料色：パールグレー B22-80B 近似

・フレッシュグリーン B37-60T 近似

・オーシャンブルー B72-50P 近似

・ベージュ B17-80D 近似

※塗装色は、塗料用標準色見本帳 2003B版(日本塗料工業会)より記載

◆めっき仕様

・溶融亜鉛メッキ

種 類：2種-55 (HDZ55) 適用規格：JIS H8641

※接合部の摩擦面処理はリン酸処理(μ=0.4以上)とする。

B. 軽量形鋼(母屋・胴縁)の防錆仕様

◆一般仕様

・216成 (SGH400：溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

メッキ付着量符号：F08 (80g/m²)

※グレー錆止めの塗装(標準)の仕様は以下になります。

塗料名：ゲージコート#03 横河グレイ JIS K5621 2種 相当

※ 仮設足場の設置に際して、既存ポンプに注意すること。
 ※ 既存ポンプは全て養生すること。

